

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月
 基準日
 定時株主総会 12月31日
 期末配当金
 中間配当金 6月30日
 (中間配当を実施する場合)
 その他 必要ある場合は、取締役会の決議により、
 あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株
 公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL
https://www.tok.co.jp/company/public_notice.html
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部
 証券コード 4186

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式(100株未満の株式)の買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款の規定により、支払開始日より満3年を経過いたしますと配当金をお受け取りいただけませんので、お早めに最寄りの三菱UFJ信託銀行本支店でお受け取りください。

株式に関するお手続きについて

特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ■特別口座から一般口座への振替請求 ■単元未満株式の買取・買増請求 ■住所・氏名等のご変更 ■特別口座の残高照会 ■配当金の受領方法の指定(注) 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 ■ご請求 電話 0120-232-711 (通話料無料) ■インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

(注) 特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。

証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ■上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

TV番組で紹介されました

当社グループが、テレビ東京系列の番組「知られざるガリバー ～エクセレントカンパニーファイル～」で紹介されました。

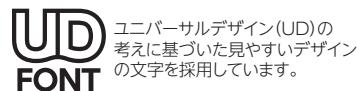
番組内では、1940年の設立以来、自由闊達な社風のもと、技術の研鑽に取り組み、製品を高度化し、高付加価値な製品を提供することによって社会に貢献するという理念のもと、開発・製造・営業の顧客密着戦略で次代の製品開発に挑戦する内容が紹介されています。

今後も、ステークホルダーの皆様へ当社グループについてご理解いただくための活動に努めてまいります。



tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地
 電話 044-435-3000 (代表)



第91期 報告書

2020年1月1日～
2020年12月31日



証券コード4186

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
 “The e-Material Global Company”
tok 東京応化工業株式会社



新技術にチャレンジし、 さらに技術を磨くことで SHINKA (進化・深化・新化) を続け、 社会の期待に化学の力で応える

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第91期の業績および今後の取組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役 取締役社長 **種市 順昭**

Q1 第91期における市場環境および業績について教えてください。

当期のエレクトロニクス市場は、5G*1やIoT*2等の普及に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワークの増加やクラウドサービス利用の拡大等により、パソコンやデータサーバー向けの半導体需要が堅調に推移しました。

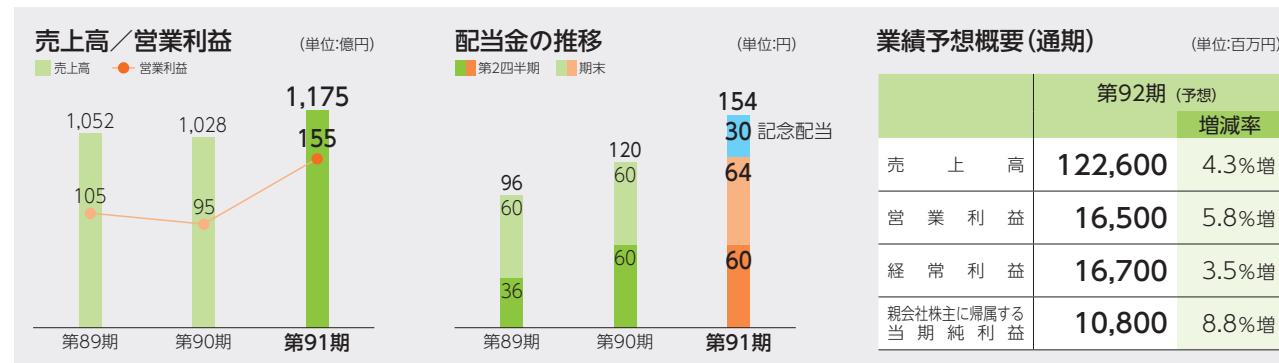
このような情勢下において当社グループは、3カ年の中期計画「tok中期計画2021」に掲げた全社目標「TOKグループがやるべきニッチな市場を開拓する」を達成すべく、次世代半導体材料の品質向上や生産技術向上を加速させるための専門組織や、既存事業分野におけるマーケティングの強化とともに、新規ニーズを開拓するための組織を新設するなど、将来のビジネス強化につながる基盤作りを進めてまいりました。さらに、キャッシュ創出力の最大化に向け、新たな経営指標の導入に取り組み、バランスシートマネジメントを

推進するなど、経営基盤の強化にも努めてまいりました。

また、新型コロナウイルス対策本部を設置し、当社グループ全体でテレワークの推奨や国内外出張の自粛または延期等により感染症拡大防止に向けた措置を講じながら、事業活動の継続に取り組んでまいりました。

この結果、当期の業績は、売上高1,175億円となり、当社設立以来の最高売上高を更新することができました。事業別売上の概況について、材料事業では、エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品の販売が好調に推移したため、売上が大幅に増加しました。装置事業では、ウエハハンドリングシステム「ゼロニュートン®」や半導体製造装置の検収が前年度を下回り、売上が減少しました。利益面におきましては、高付加価値製品の売上増加に加え、原油価格下落に伴う原材料費低減や減価償却費等の経費減少により、営業利益155億円となり、過去最高益を更新することができました。

*1 第5世代移动通信システム ※2 モノのインターネット



Q2 配当金については、いかがですか？

当社は昨年設立80周年を迎えることができました。そこで株主の皆様の日頃のご支援に対し感謝の意を表すため、設立80周年記念配当として1株あたり30円を実施しました。当期末につきましては、DOE (連結純資産配当率) 3.5%を目処とする配当方針に基づき、当期末普通配当につきましても4円増配し64円としました。このことにより期末配当金は記念配当と普通配当を合わせ1株につき94円といたしました。

Q3 第92期の見通しについて教えてください。

当社グループは昨年、今後の活動を未来起点で考え、「豊かな未来、社会の期待に化学で応える“The e-Material Global Company”」という経営ビジョンを掲げ、2030年

に向けた長期ビジョン「TOK Vision 2030」をスタートしました。

今期が最終年度となる「tok中期計画2021」に関しましては、新型コロナウイルスの影響や米中通商摩擦による先行きの不透明さはあるものの、エレクトロニクス市場の拡大は今年度も継続するものと考えております。このため、売上高は1,226億円を予想しており二期連続で過去最高の売上高を更新する見通しです。また、営業利益につきましても、エレクトロニクス機能材料の需要増加に伴い利益率が向上していることから、165億円を予想しており二期連続の過去最高益を見込んでおります。中期計画の目標達成に向けて着実に足場を固めており、幾つかの計数目標をクリアするとともに、「TOK Vision 2030」で示す長期目線での成長軌道に乗り始めた実感しております。

今後も、株主の皆様のご期待に応えられるようグループ丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京応化工業のウェブサイトでも2020年12月期決算説明会の模様をご覧ください。
[東京応化工業ウェブサイト](https://www.tok.co.jp/ir/) ▶ [IR情報](#) ▶ [決算説明会ビデオ](#) <https://www.tok.co.jp/ir/movie>



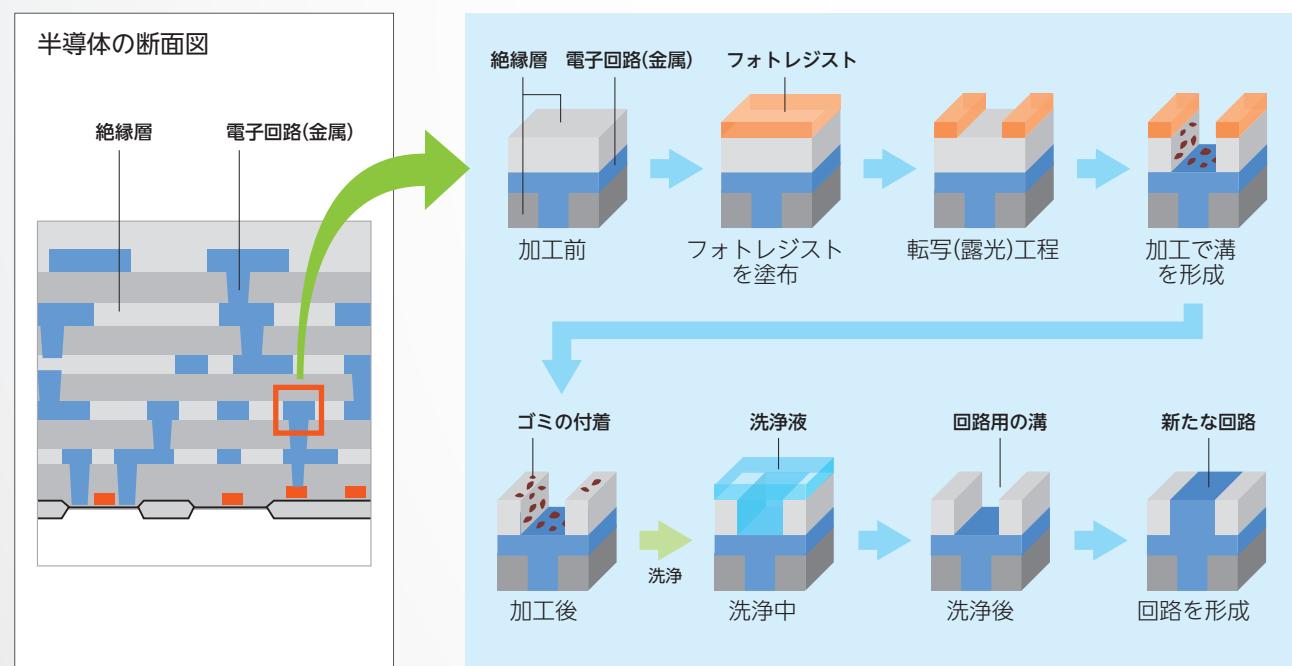
1 洗浄液で半導体製造を支えるtokの技術

東京応化には半導体の進化を支える様々な製品があります。半導体製造では、ウエハ基板はつねに清浄な状態に保たなければなりません。半導体製造には何百もの工程があり、特に加工の工程では微小なゴミが無数に発生し、ウエハ基板に付着します。このゴミは容易に除けず、ウエハ基板に残してしまうと半導体の動作不良(電気信号の妨げなどの性能低下)の原因となります。こうした不良を低減するため、ゴミは徹底して除去(洗浄)し

なければなりません。そして、このゴミ除去に必要な薬品が、高純度化学薬品部門に分類されている洗浄液です。

最先端の半導体開発では、絶縁層や電子回路素材、製造工程の変更、改良などが度々行われます。このため、東京応化はつねに顧客の要求に化学の力で応え、半導体製造工程における最適な洗浄液を開発し、提供することで半導体製造を支えています。

半導体製造工程の一部



2 新たな半導体パッケージを可能にするtokの技術

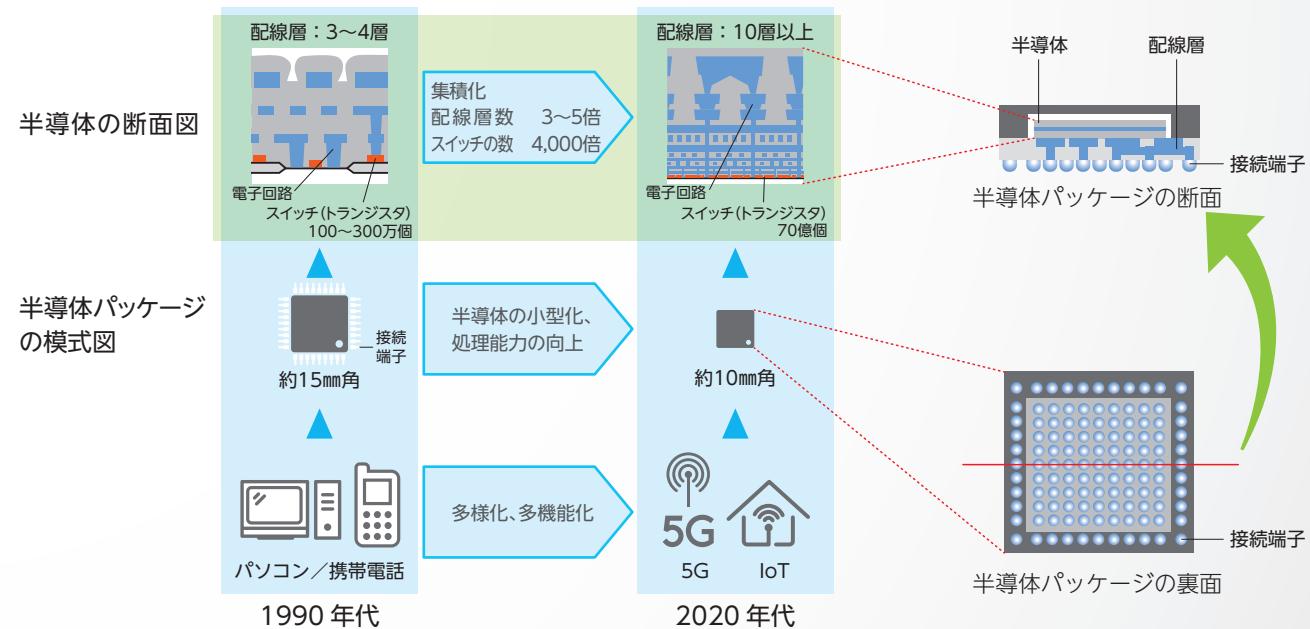
半導体は、その電子回路やスイッチ(トランジスタ素子)を製造する前工程と、その半導体を他の電子部品と接続するための配線形成と外部環境から保護するパッケージ化を行う後工程を経て、製品になります。最先端の電子機器用途では搭載する半導体の薄型化、高速化などの要求に応える必要があり、半導体内部の微細化(縮小化)だけではなく、小型にパッケージするための技術革新も必要不可欠となっています。

最先端用途では小型化や高性能化のために、例えば外観は、接続端子が外側に突き出したパッケージ形状から、現在

はパッケージの裏面に半球状で配置されるものが増えてきました。パッケージ内部では、半導体と接続端子をつなぐ配線層の形成方法も変更されました。

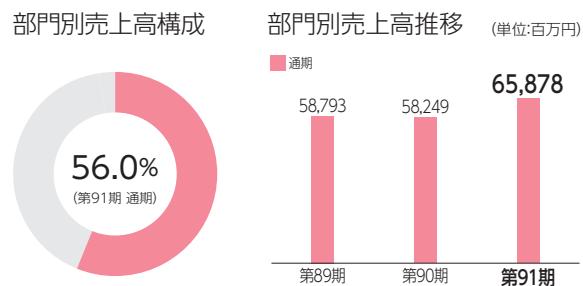
今後5Gのさらなる普及に伴い、次世代半導体のパッケージ技術も進化していきます。東京応化は次世代半導体向けに高密度実装(接続端子や配線層形成用フォトレジスト)材料を提供することで、半導体の小型化や高性能化を通じて社会的課題の解決に貢献し続けていきます。

半導体パッケージ技術の進化



材料事業

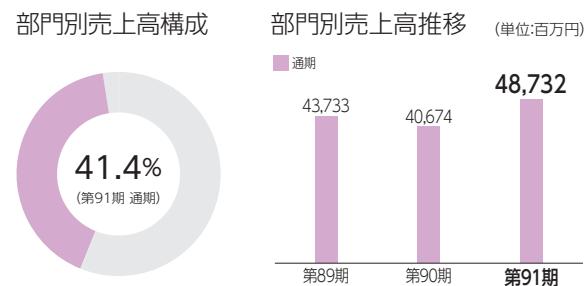
エレクトロニクス
機能材料部門



部門別売上高 **65,878**百万円

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年を大幅に上回る658億78百万円(前年度比13.1%増)となりました。これは、ディスプレイ用フォトレジストにおいて、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、売上が減少したものの、パソコンやデータサーバー向けなどの半導体需要が堅調に推移したことにより、アジア地域において半導体用フォトレジストや、高密度実装材料の売上が増加したことが主な要因です。

高純度化学薬品
部門

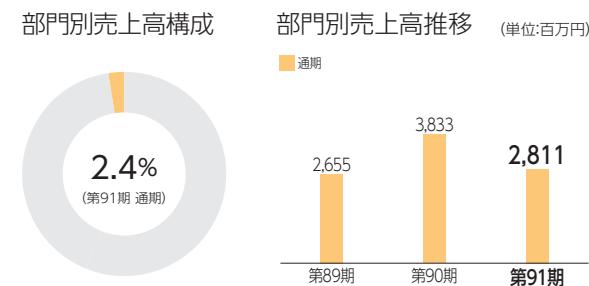


部門別売上高 **48,732**百万円

高純度化学薬品部門の売上高は、前年を大幅に上回る487億32百万円(前年度比19.8%増)となりました。これは、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、ディスプレイ用フォトレジスト付属薬品の売上が減少したものの、最先端半導体製造プロセスに使用される台湾向けの半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移したことが主な要因です。

装置事業

プロセス機器
部門



部門別売上高 **2,811**百万円

プロセス機器部門の売上高は、前年を下回る28億11百万円(前年度比26.7%減)となりました。これは、ウエハハンドリングシステム「ゼロニュートン®」や半導体製造装置の検収が前年を下回ったことが主な要因です。

製品紹介

最先端技術の
EUVフォトレジスト

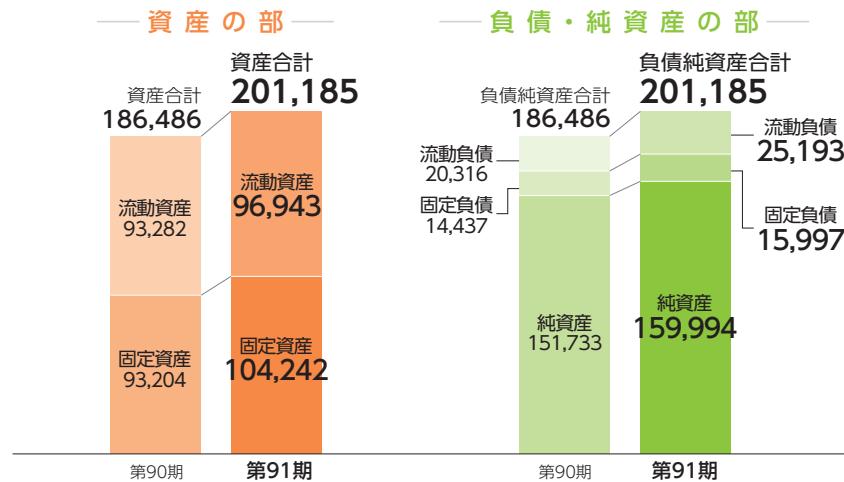
最も微細な回路線幅を実現するEUV(極端紫外線)プロセスがいよいよ最先端半導体の製造に使用され始めました。当社グループのEUVフォトレジストも大手半導体メーカーに採用いただいております。一部の5Gスマートフォン用の最先端半導体(プロセッサ)製造に使用されております。

EUVプロセスを使用して製造される半導体は、処理速度の向上や消費電力の低減が可能なことから、今後もEUVフォトレジストの適用範囲は拡がることを見込まれています。当社グループはこれからもつねに新しい技術を提供することで半導体の進化に貢献していきます。



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



資産の部

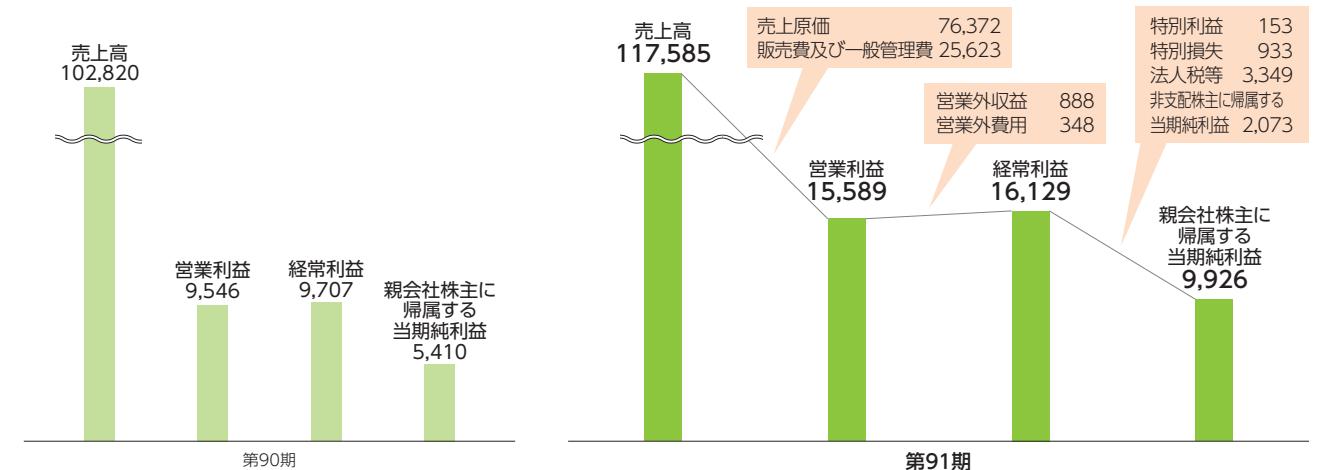
- ・受取手形及び売掛金と現金及び預金が増加したことにより、流動資産が増加。
- ・投資その他の資産の増加により、固定資産が増加。

負債・純資産の部

- ・支払手形及び買掛金、繰延税金負債が増加したことにより、負債合計が増加。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益を確保したことにより、純資産が増加。

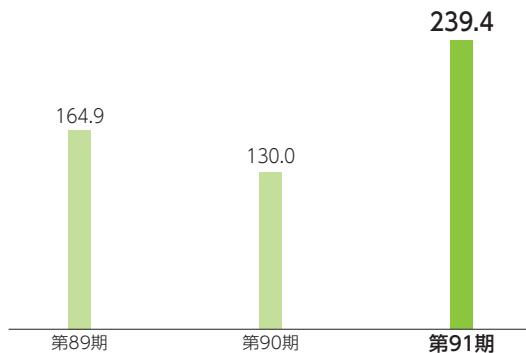
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



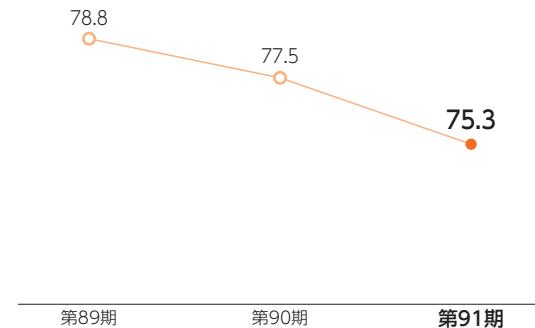
1株当たり当期純利益

(単位:円)



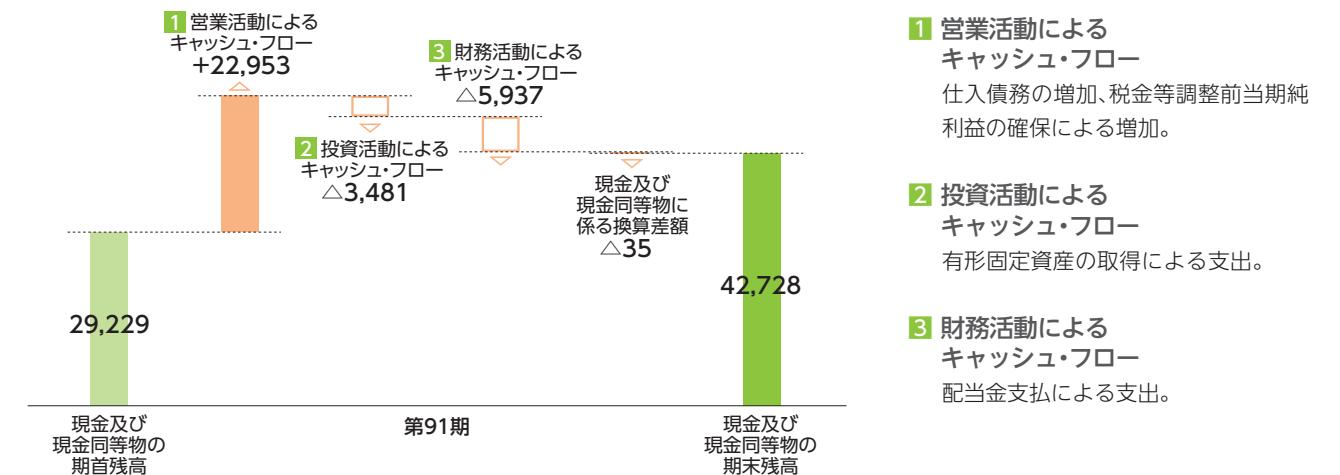
自己資本比率

(単位:%)



連結キャッシュ・フローの概要

(単位:百万円)



(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第90期の期首から適用しており、第89期に係る各数値については、当該会計基準等を遡及処理後の数値で記載しております。

TOKのIR活動

当社グループの会社情報を株主、投資家の皆様にご理解いただくため、透明性、公平性、継続性を基本とした情報開示を徹底し、IR活動に取り組んでいます。当期は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で個人投資家説明会や、インターネットを利用したオンライン説明会を開催しました。

また、当社グループの事業活動をステークホルダーの皆様により深くご理解いただくための冊子「統合レポート2019」は、日経アニュアルレポートアワード2020で「優秀賞」、GPIF*で「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」、WICIジャパン統合レポート・アワード2020では「特別企業賞(ブロンズ・アワード)」と、いずれも高い評価を受けました。

*年金積立金管理運用独立行政法人



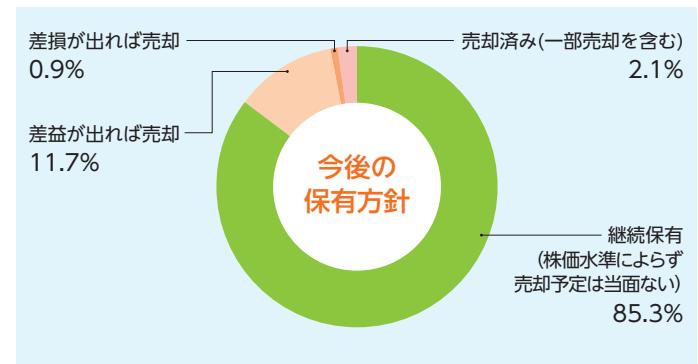
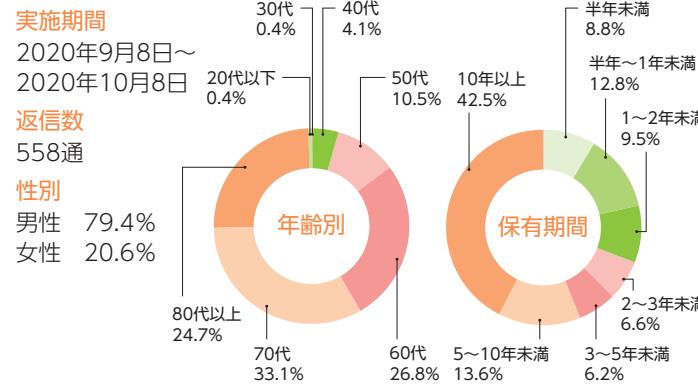
<https://www.tok.co.jp/ir/library/annual>



当冊子は、ウェブサイトに掲載しておりますのでご覧ください。

株主様アンケート 集計結果のご報告

第91期中間報告書に同封したはがきを通じて、株主の皆様アンケートを実施いたしました。たくさんの株主様よりご回答いただき誠にありがとうございました。頂戴しましたご意見の一部ではございますが、アンケート結果をご紹介します。



株主の皆様からの貴重なご意見を参考にさせていただき、分かりやすい報告書の作成やIR活動の充実に努めてまいります。

株式の概況／会社概要 (2020年12月31日現在)

株式の状況

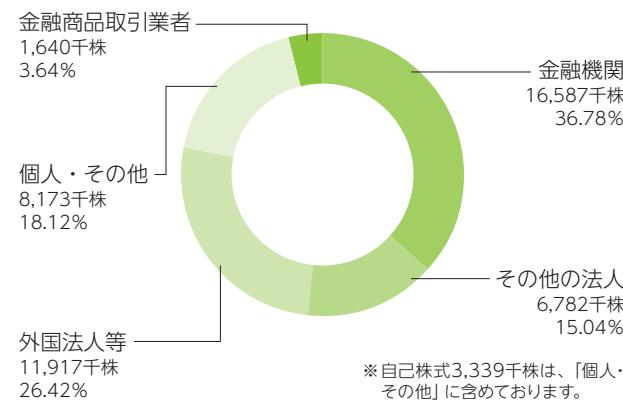
発行可能株式総数	197,000,000株
発行済株式の総数	45,100,000株 (自己株式3,339,618株を含む)
株主数	7,620名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,108	7.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,062	7.33
明治安田生命保険相互会社	1,826	4.37
MLPFS CUSTODY ACCOUNT	1,459	3.50
株式会社三菱UFJ銀行	1,207	2.89
株式会社横浜銀行	1,026	2.46
公益財団法人東京応化科学技術振興財団	984	2.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	953	2.28
三菱UFJキャピタル株式会社	860	2.06
東京海上日動火災保険株式会社	857	2.05

(注) 1 当社は、自己株式を3,339千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(41,760,382株)を基準に算出しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

社名	東京応化工業株式会社 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.
設立	1940年10月25日
資本金	14,640,448,000円
従業員数	1,750名(連結) (当社グループから当社グループ外への出向者および嘱託者を除く)
本社所在地	〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地 電話044(435)3000(代表)

役員

2021年3月30日現在

取締役および監査役	種市順昭
代表取締役取締役社長	佐藤晴俊
取締役	柴村洋一
取締役	水木國雄
取締役	村上裕一
取締役	鳴海本弘
取締役	関口典子
取締役	一柳和夫
常勤監査役	徳竹内信生
監査役	竹内伸春
監査役	上原忠輝
監査役	梅崎

(注) 1 取締役栗本弘嗣氏、取締役関口典子氏、取締役一柳和夫氏は、社外取締役です。
2 監査役竹内伸氏、監査役上原忠春氏、監査役梅崎忠輝氏は、社外監査役です。

執行役員

※執行役員社長	種市順昭
※専務執行役員	佐藤晴俊
※専務執行役員	柴村洋一
※専務執行役員	入野浩一
※常務執行役員	水木國雄
※常務執行役員	土井宏一
※執行役員	村上裕一
※執行役員	鳴海本弘
執行役員	渡辺直樹
執行役員	本基
執行役員	山本浩貴
執行役員	大森克実

※自己株式3,339千株は、「個人・その他」に含めております。
(注) ※印を付した執行役員は、取締役を兼務しています。